

日本原子力学会核燃料部会 平成21年度第一回運営委員会議事録

日時 : 平成21年5月15日(金) 13:30~15:40

場所 : 原子力学会会議室

出席者 : (順不同 敬称略)

岩田部会長、安部田副部会長、永瀬氏(更田委員代理)、緒方委員、大平委員、阿部委員、松浦委員、高野委員、篠崎氏(田内委員代理)、伊東委員、木下委員、小林委員、平井委員、野田委員、原田委員、高島委員、磯部委員

議事

1. 前回運営委員会および総会議事録案確認

磯部委員から、No.1-1前回運営委員会議事録案および資料No.1-2第32回核燃料部会総会議事録案が提示され、了承された。もし気づき事項があれば後ほど修正することとした。

2. 運営委員の変更について

磯部委員から、資料No.2-1に基づき、運営委員の交代および所属等の変更について紹介され、了承された。また、森山委員の(大学内での)所属変更に付いても併せて紹介された。

緒方委員、平井委員、松浦委員から連絡先等の変更がある旨アナウンスされた。他の委員を含め、次回運営委員会までに修正することとした。

高野委員および磯部委員から、MMTL被覆管部門がMNFに移管されたことに伴い、MMTLからの運営委員は今年度の庶務幹事までとし来年度以降は外れたいとの意向を説明し、了承された。

3. 平成20年度収支状況および平成21年度予算案について

磯部委員から、資料No.3-1およびNo.3-2に基づき、平成20年度実績および平成21年度予算案について説明した。前者は前回運営委員会時の実績予想に比べ7480円の支出増になっていること、後者は学会理事会査定により一旦減額されたが意義申し当初申請予算通りに戻ったことなど報告した。

また、平成20年度末繰越金112万円の内訳は、一般正味財産37万円、指定正味財産75万円であること、後者はH17年度のWRFPM用指定分であり一般用への付替えは原則不可であること、予算通りであれば今年度末には、一般の残が12万円程度になることが予想されること、一般がマイナスになれば指定から補填されること、ただし、「核燃料高度化ロードマップ」実行委員会運営費(指定財産)はそれらとは別枠とすることなど説明した。

4. 平成21年度「秋の大会」部会企画セッションについて

平井委員から、資料No.4-1に基づき、再処理リサイクル部会との合同企画セッションについて経緯、概要等が紹介され、テーマについて議論した。結果、FBR燃料サイクルを中心とした議論にすることを再処理側に申し入れることとした。

安部田副部会長から、資料No.4-2に基づき、核融合-材料-核燃料3部会合同の日韓合同セミナーについて経緯、進捗等が紹介され、進め方を議論した。3部会合同実施体制について見直しの必要があること、国際的位置づけを高めつつある韓国とのパイプを広げる意味で意義があるなどの意見が出された。岩田部会長が実施案を整理した上で韓国側と相談すること、他部会へは安部田副部会長から進め方を連絡することとした。

5. 部会報について

松浦委員から、夏版編集進捗表(資料No.5)が紹介された。特別寄稿、国際会議紹介、国際交流ニュース、関係機関便りなどに付いて執筆者(および依頼者)案が出された。関係機関便りの執筆者については、安部田副部会長が検討することとした。

6. 平成21年度夏期セミナーについて

伊東委員から、開催要領がホームページに掲載されていること、石見銀山の講演者が決定したことなどが紹介された。各機関の若手の参加、早めの申込など要請された。

7. 委員選出/推薦案件について

岩田部会長から、資料No.7-1に基づき、原子力学会広報情報委員会より要請のあったポジションステートメントワーキンググループ委員の選出に付いて説明された。議論の結果、野田委員(日本原燃)に連絡役をして頂くこと、タイトルから安全性を除き「プルサーマル」とし、必要ならその中で安全性研究を取り上げることとした。

続いて、岩田部会長よりIAEAからのThermo-physical Property Data Baseの委員選出について説明された。議論の結果、平井委員(NFD)に連絡役を御願いすることとした。

8. その他

次回運営委員会は、合同夏期セミナー期間中の7月2日昼を第一候補とする。3部会で調整の結果、7月3日になる可能性もある。

過去の運営委員会議事録の一覧はこちらです。

過去の運営委員会議事録一覧

[もどる](#)

(c)[日本原子力学会核燃料部会](#) : 2010-3-2